

南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意) 発表への対応について

令和6年8月9日



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の発表について

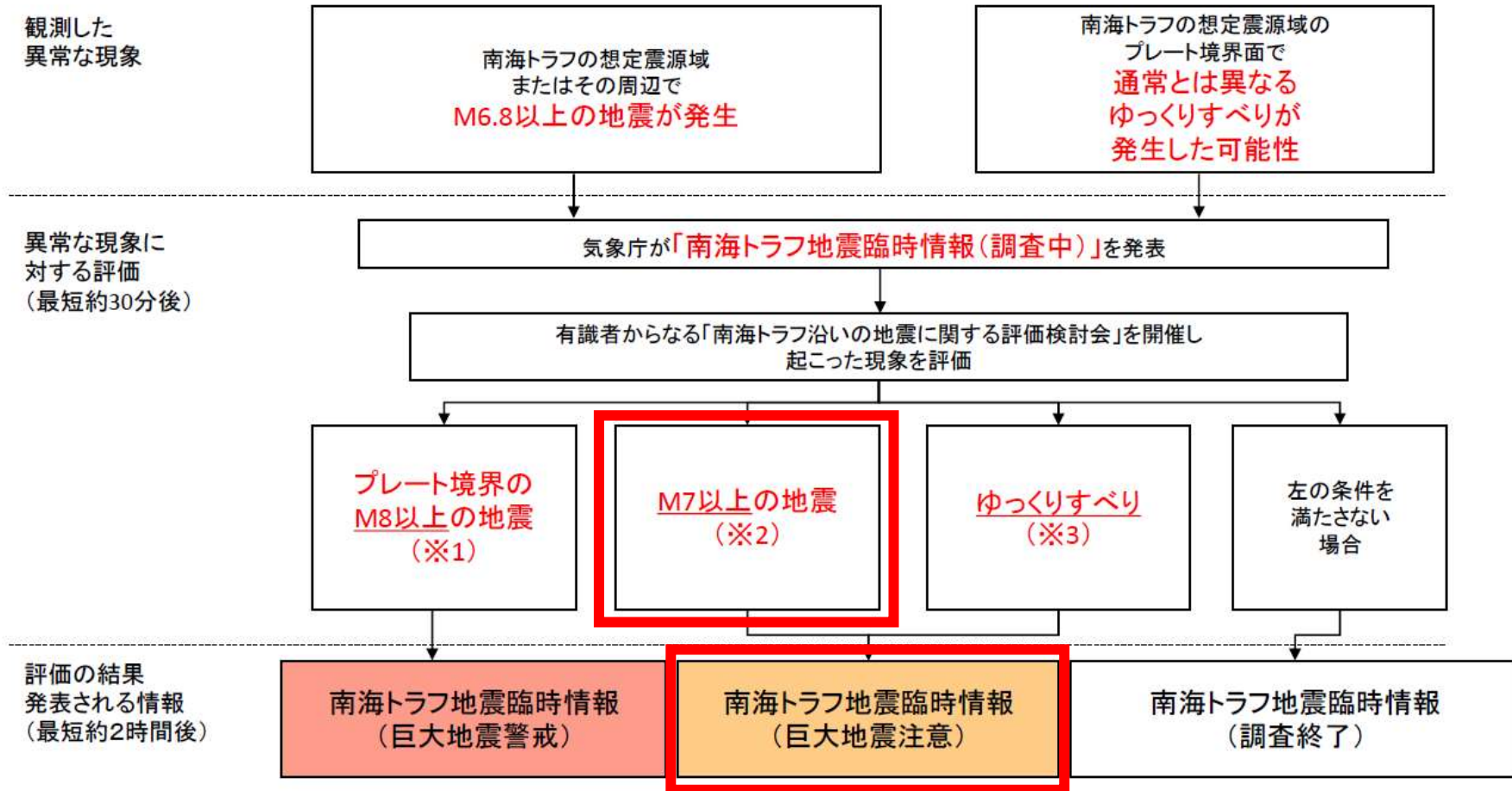
1. 地震発生概要

- ・場所:宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震
- ・日時:令和6年8月8日 16時43分頃
- ・南海トラフ想定震源域内における陸のプレートとフィリピン海プレートの境界が一部ずれたことによる

2. 地震発生後の経緯

- ・ 令和6年8月8日 17時00分
気象庁が「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」を発表
- ・ 令和6年8月8日 17時30分
有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催
- ・ 令和6年8月8日 19時15分
気象庁が「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表

異常な現象を観測した場合の情報発表までの流れ



※1 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合(半割れケース)

※2 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生した場合、または南海トラフの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生した場合(一部割れケース)

※3 ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合(ゆっくりすべりケース)

防災対応の流れ

	プレート境界のM8以上の地震※1	M7以上の地震※2	ゆっくりすべり※3
発生直後 「ゆっくりすべりケース」 は検討が必要と認められた場合	● 個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始		● 今後の情報に注意
(最短) 2時間程度	巨大地震警戒対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 ●地震発生後の避難では間に合わない可能性のある要配慮者は避難、それ以外の者は、避難の準備を整え、個々の状況等に応じて自主的に避難 ●地震発生後の避難で明らかに避難が完了できない地域の住民は避難	巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 (必要に応じて避難を自主的に実施)	巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等
1週間			
2週間※4	巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 (必要に応じて避難を自主的に実施)	●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う	
すべりが収まったと評価されるまで	●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う		
大規模地震発生まで			●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う

※1 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合(半割れケース)

上表内の対応は標準を示したものであり、個々の状況に応じて変わるものである

※2 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生した場合、または南海トラフの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生した場合(一部割れケース)

※3 ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合(ゆっくりすべりケース)

※4 2週間とは、後発地震警戒対応期間(1週間)+後発地震注意対応期間(1週間)

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表

南海トラフ地震の想定震源域では、**新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると考えられます**

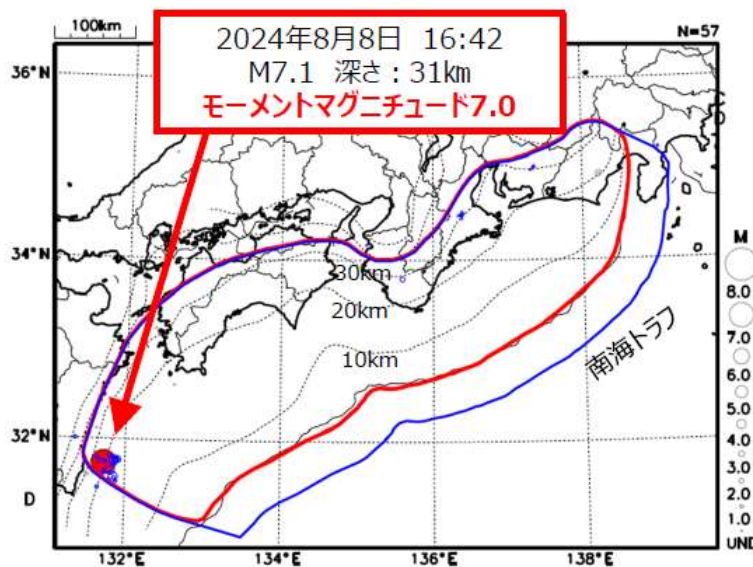
今後、もし大規模地震が発生すると、**強い揺れや高い津波を生じると考えられます**

※新たな大規模地震が発生する可能性は平常時と比べると高まっていますが、特定の期間中に大規模地震が**必ず発生することをお知らせするものではありません**

政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください

※モーメントマグニチュードは、震源断層のずれの規模を精査して得られるもので、地震発生直後に地震波の最大振幅から計算し津波警報等や地震情報の発表に用いるマグニチュードとは異なります。

今回の地震の発生場所



- ・赤線は想定震源域、青線は南海トラフ地震臨時情報発表に係る地震活動の監視領域
- ・黒点線は、フィリピン海プレート上面の深さ

南海トラフ地震防災対策推進地域

緑色に塗られた領域、赤線で囲まれた領域は南海トラフ巨大地震の想定震源域



県民のみなさまへ

県民の皆様におかれましては、基本的に事前の避難の必要はなく、普段どおり生活を送っていただくことができますが、1週間程度は、自治体などからの情報に注意いただくようお願いします。併せて、「家具の固定」、「避難場所や避難経路」、「家族等との連絡方法」を確認し、「水・食料・常備薬・スマホの予備バッテリー」などをすぐに持ち出せるように準備するなど改めて地震への備えをしてください。

なお、土砂災害は降雨がなくても地震により発生する恐れがあるため、事前にご自宅や通勤・通学路といった身の回りのリスク箇所について、市町村のハザードマップや県ホームページで確認いただきたいと思います。

また、夏休み、お盆の時期であり帰省や行楽を予定している方も多いかと思えます。帰省先等においても、地震への備えをお願いします。